

研究No. (記載不要)	16 - デ - 6
-----------------	------------

平成 16 年度配分 研究成果の概要

研究名	都市公園デザイン手法の研究と実践				
配分を受けた特別研究費	デザイン学部長特別研究費			1,200	千円
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究の場合の分担
	デザイン学部	空間造形学科	教授	川口 宗敏	・公園事例の調査 ・ワークショップの運営 ・研究のまとめ
共同研究者	デザイン学部	空間造形学科	教授	寒竹 伸一	・公園事例の調査 ・ワークショップの運営
発表の方法	1 紀要			号数	第 号
	2 学会等での発表			発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日
	3 その他 発表の方法: ・ワークショップ最終成果の発表会 (静岡文化芸術大学 南 280 講義室) ・ワークショップ提案書の浜松市役所 への提出			発表日 (発表 予定日)	・平成 16 年 7 月 24 日 (ワークショップ最終成果の 発表会) ・平成 17 年 4 月 5 日 (ワークショップ提案書の浜 松市役所への提出)

(研究の目的等)

従来の都市公園づくりは、行政主導で、役所から依頼されたコンサルタントが計画・設計を行うことが一般的であった。しかし、最近では、市民が参加した計画案作成の重要性が指摘されている。

そして、現在、浜松市でも、東地区土地区画整理事業の一環として、本大学に隣接している野口公園が、計画・建設予定にある。

そこで、東地区の一員でもある教官や学生から成る本大学関係者、周辺地区住民、浜松市民等で構成されたメンバーによるワークショップを開催し、住民主導の野口公園案の作成を試みた。このことは、浜松市において今後期待される住民主体のまちづくりの視点からも意義深いことである。同時に、このような試みは、学生にも実務経験を積ませる上で効果的である。また、ワークショップ開催は、市民に開かれた大学を標榜している本学の開学精神にも合致していると考えられる。

(研究の実施方法等)

- ① 野口公園と同規模の都市公園を対象に、公園の計画案作成および維持管理におけるワークショップの活動について、現地調査及び文献調査研究を行った。
- ② 野口公園ワークショップを、大学院生を中心とした学生グループ(16名)、及び浜松市民(17名)の参加を得て開催し、最終提案として3案を作成・発表した。

(得られた成果等)

- ① 大学隣接地に浜松市役所が計画している野口公園の建設計画に対し、大学および市民が共同してワークショップを行い、最終提案を発表できた。
- ② 本学大学院生および学部学生が、実際に建設が予定されている野口公園計画案の作成に際し、一般市民と共に共同作業できたことで、実務的な教育成果が得られたと考えられる。